



2014年トレンド予測

住まい領域

WEBサイト・情報誌・対面相談

PCサイト

SUUMO



モバイル・タブレット

ケータイ・スマートフォン



情報誌

フリーペーパー



無料相談所

スーモカウンター
新築マンション
注文住宅



タブレット



市販誌



定年を迎えた団塊世代が求める暮らしは
「隠居」から「新たな縁を創る」スタイルへ

縁居

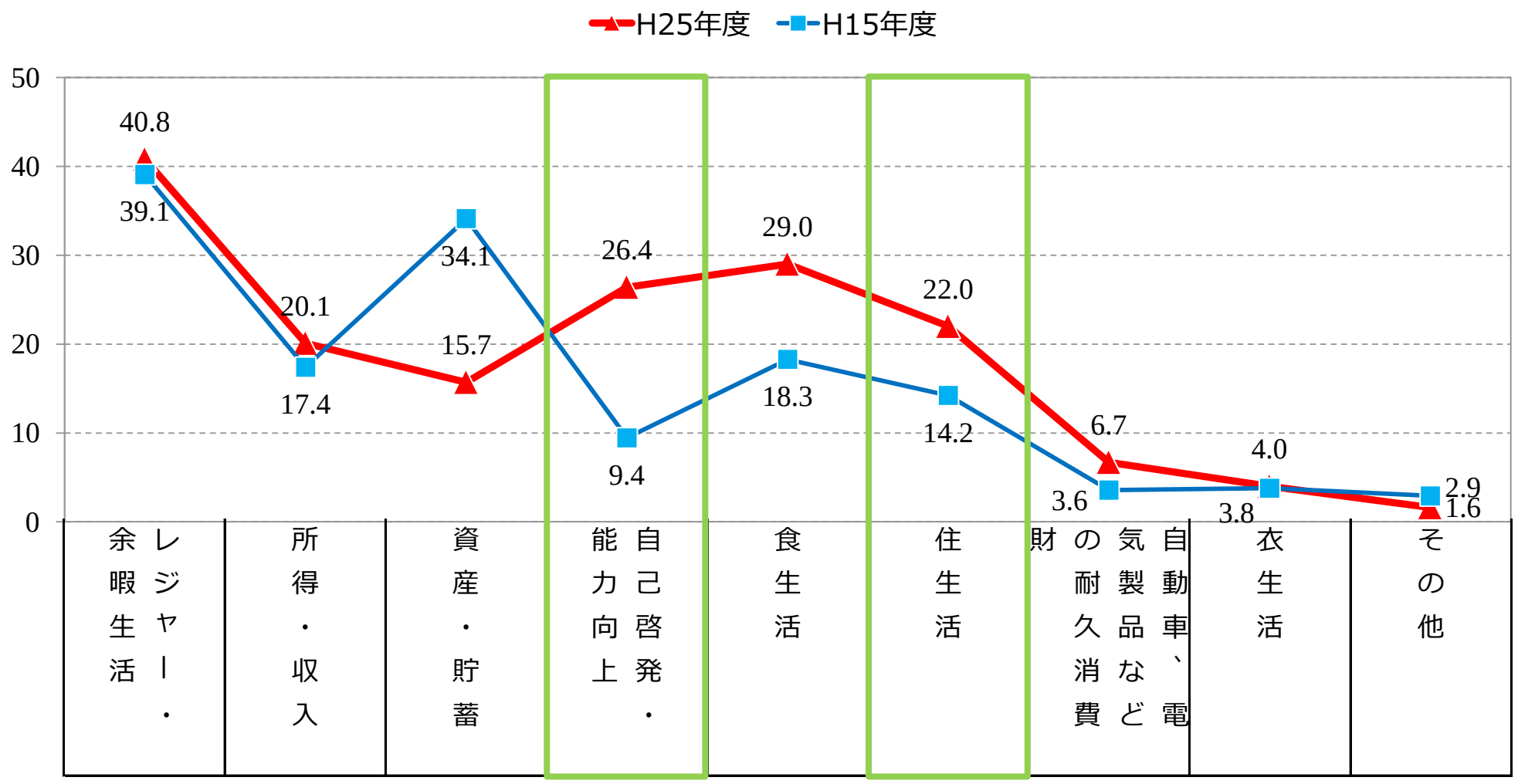
アクティブな**団塊世代**が、いよいよ定年後の生活にはいつてきたが、この世代が今後の暮らしに求めるものは、その上の世代とは異なるようだ。

「**健康なうちに自らの意思**で、住み替え、リフォームなどを行うことにより、地域やコミュニティに**新たな縁や居場所**を創る」という動きが生まれている。

彼らが求める暮らしは、従来の「**健康・安心**」に加え、「**趣味・学び・役割を通じた交流**」であり、住まいの変化をきっかけ（＝縁）として活用している。

自分の意志で最適な住まいを選ぶことは、健康寿命を伸ばすことにつながり、超高齢化社会の解決の一助ともなる可能性がある。

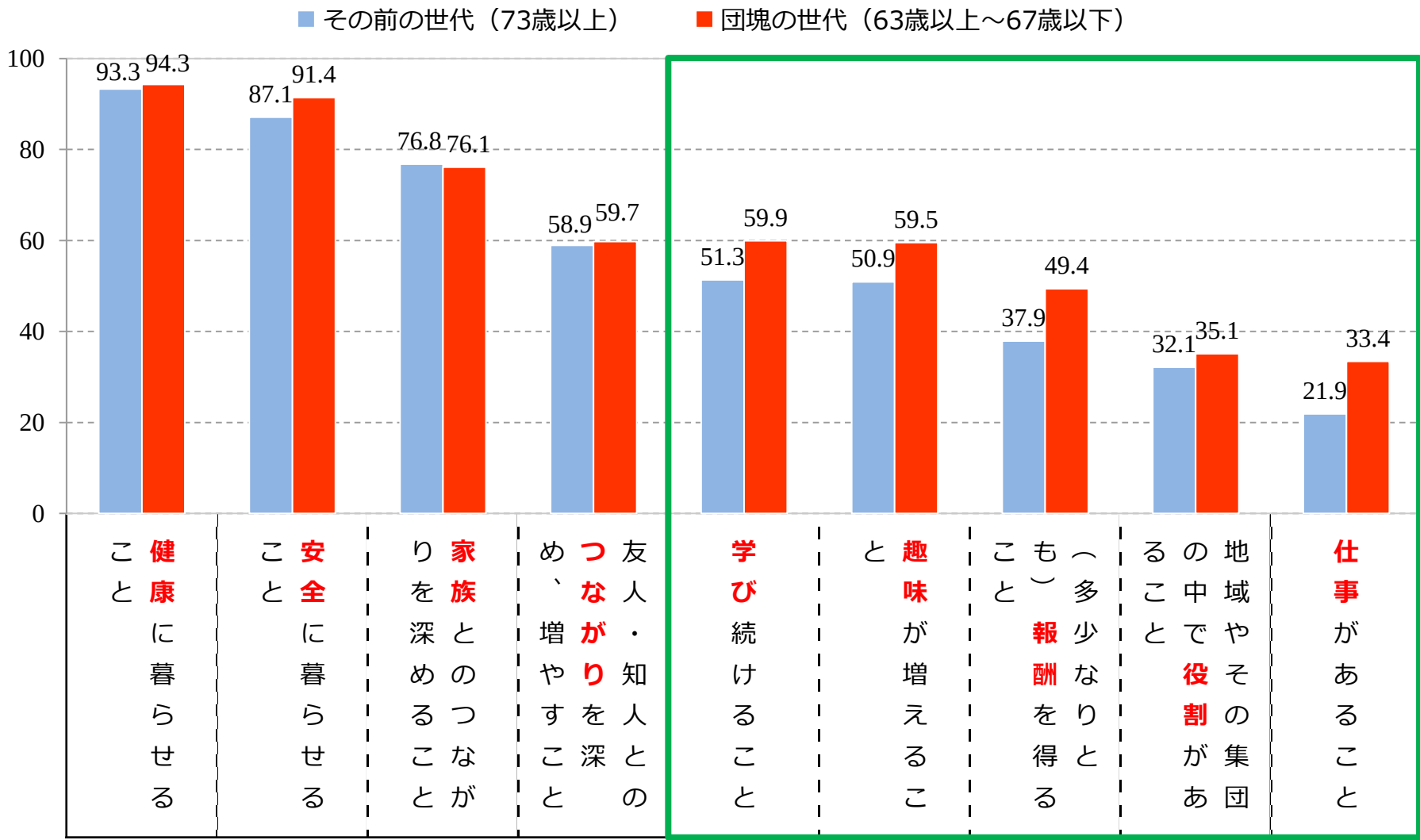
◆今後の生活の力点をおきたい項目（H15年とH25年の60代を比較）



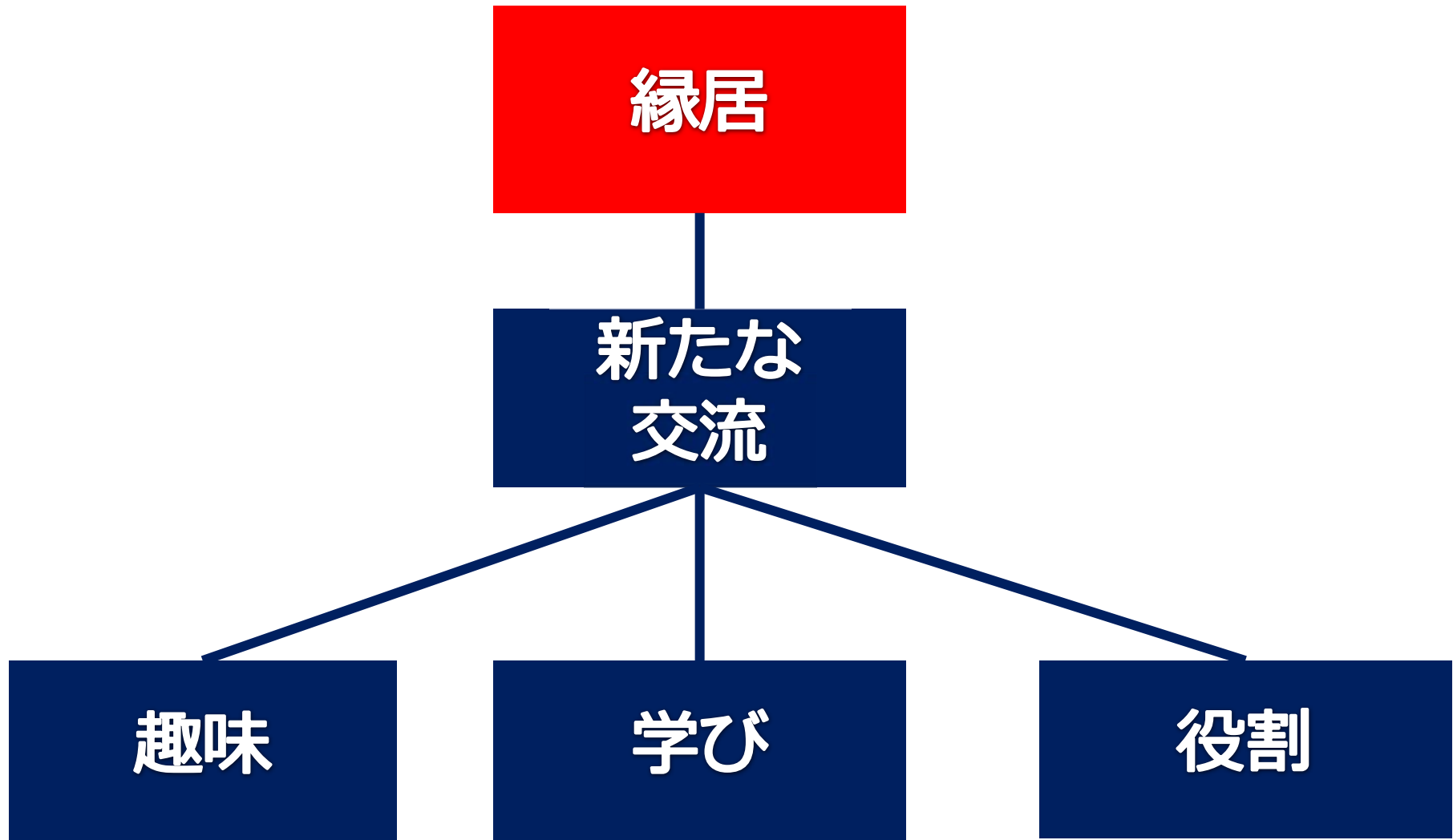
（内閣府「国民生活に関する世論調査」より）

◆ **住み替え、リフォームをする際に、どんなことを実現したいか**

※ 「ぜひ実現したい」と「出来れば実現したい」のスコアを合計

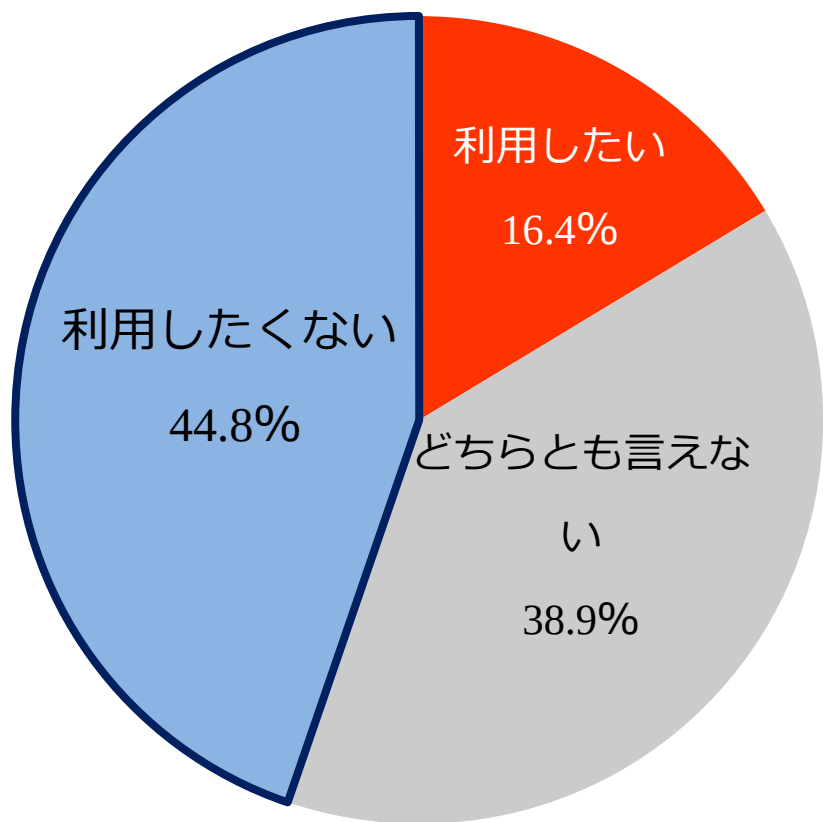


（RSC「団塊世代の住み替え意向に関するアンケート」より）



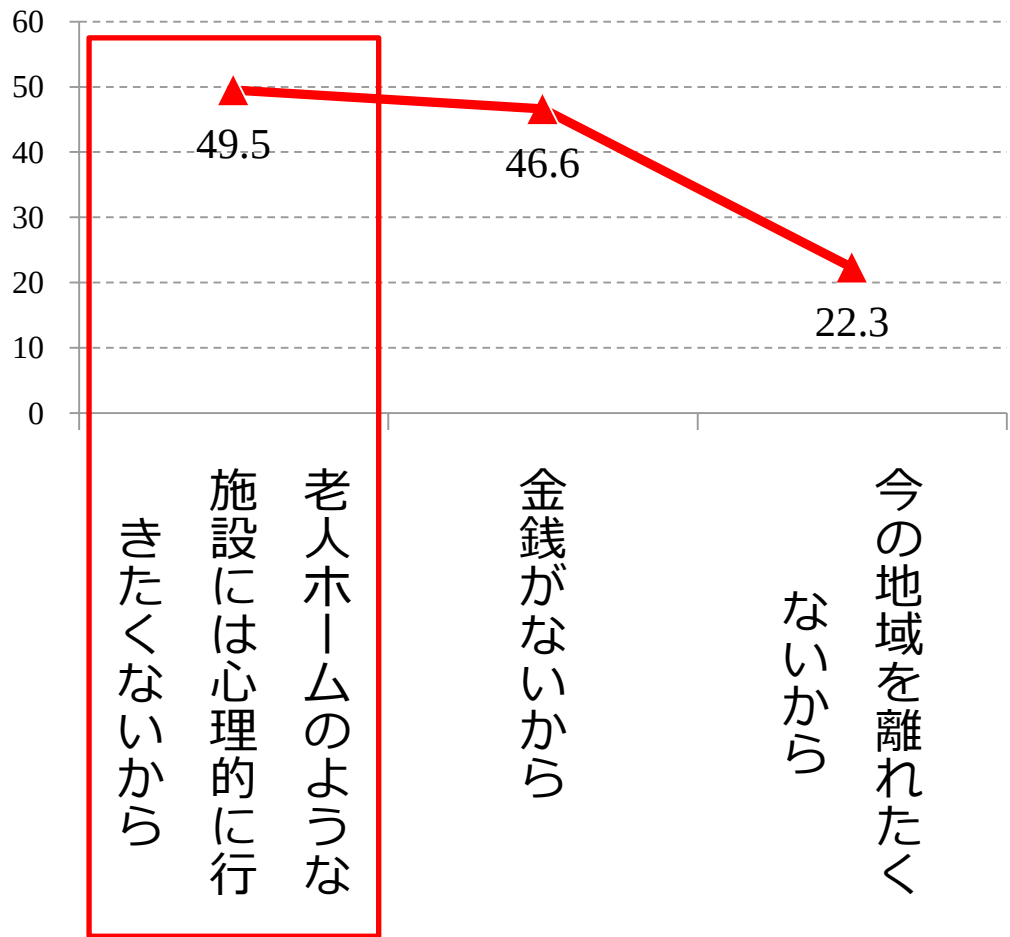
◆介護付き有料老人ホームの利用意向

※団塊の世代（63歳以上～67歳以下）



◆介護付き有料老人ホームを利用したくない理由（上位3位）

※団塊の世代（63歳以上～67歳以下）



（RSC「団塊世代の住み替え意向に関するアンケート」より）

千葉市稲毛区

元気なうちから入居。充実の共用施設で、
新たな趣味を新たな仲間と
楽しむ “コミュニティ型分譲住宅”

交流 趣味 学び



定年後の生活を満喫するためのシニア向け分譲住宅「スマートコミュニティ稲毛」。50歳から入居可能で、現在は**60歳代を中心**に、契約者は530名を超える。

30㎡台～70㎡台を中心とする住居棟と、多彩なレクリエーション、生涯学習、サークル活動などを行う共有のコミュニティ棟や広大なグラウンドがある。

新たな知人、新たな趣味、やりがいが得られる**同世代コミュニティ**に価値を感じている。供給サイドが用意したサークル活動だけでなく、**入居者によって生み出されたサークル**もあわせると、のべ200種を超える。

購入費	33㎡～	約1400万円～
初期費用	施設利用 権利金 ＋ 入会金	約200万円
＋		
月額費用	サービス費 ＋ 食費（2食）	約9万円

まだ、ここにいる、出会い、
RECRUIT



70ヤードのうちっ放しが楽しめる屋外ゴルフ練習場(8打席)。バンカーやアプローチショットも可能です。定期開催されるスマートコミュニティ杯に向け、皆さん練習に励んでいます。



テニスコートを6面完備(初期は4面)。オムニコートとレイコートが各2面。オムニコートにはナイター照明も完備しています。

定期的にコミュニティの仲間たちとの大会も開催も予定しています。



ク 天然芝を敷き詰めたサッカーフィールド。
グラウンドの管理人による芝の手入れも行き届き、コン
ディションは抜群です。



クラブハウス 施設配置図

フィットネス

マシンジム

更衣室

和室 (囲碁・将棋)

音楽スタジオ

保健室

アトリエ

スモーキングエリア

書斎コーナー

読書ラウンジ

パソコンコーナー

フィットネス受付

ダンスホール

ビリヤード

ピンボール

コンシェルジュカウンター

←入口

運営室

カフェ&バーラウンジ

ダーツ

カラオケルーム

貸出用ストックルーム

ステージ

メインダイニング

オープンキッチン

麻雀ルーム

アトリエ

サークルルーム

卓球

卓球

デンタルクリニック開設済



グラウンド 施設配置図

グラウンド入口

クラブハウス

野球場

ジョギング
ウォーキング
ゾーン

外野に天然芝を敷き詰めた両翼75mの野球場を2面完備。練習だけでなく、大会も開催可能です。
仲間を集めて、チームを作りましょう。



1周700mのジョギング・ウォーキングゾーン。身体を動かしながら、敷地内に植えられた四季折々の木々・草花を楽しめます。



東京都日野市

開かれた住環境の中で、イベント等を通じて 多世代がゆるやかにつながる団地

交流

学び

役割



若者向け
シェアハウス

ファミリー向け
菜園付き共同住宅

高齢者向け住宅

昭和30年代につくられた**多摩平団地**。
高齢化が進んでいたが、
既存のインフラを活用した取り組みで
若者から高齢者までがともに暮らす
コミュニティとして再生。
多世代が同じ場所で生活することで、
相互に活力を与え合う。



以前に染物教室を開いていた
高齢者向け住宅の居住者が
地域の住人に**藍染**を教える。
他に**編物教室**や**お花見**、**夏祭り**、**もちつき**
など、文化や季節のイベントを通じて自然
な形で交流している。

栃木県那須町

特技を活かしてコミュニティ内で 役割を担い、生きがいを見出す

交流

役割

サービス付き高齢者向け住宅の
一般的条件

専有部面積

25m²以上（原則）

設備

バリアフリー

サービス

安否確認
生活相談

契約

家賃支払い型

これらに加え……

「ゆいま～る那須」では
「役割」「仕事」「つながり」が持てる



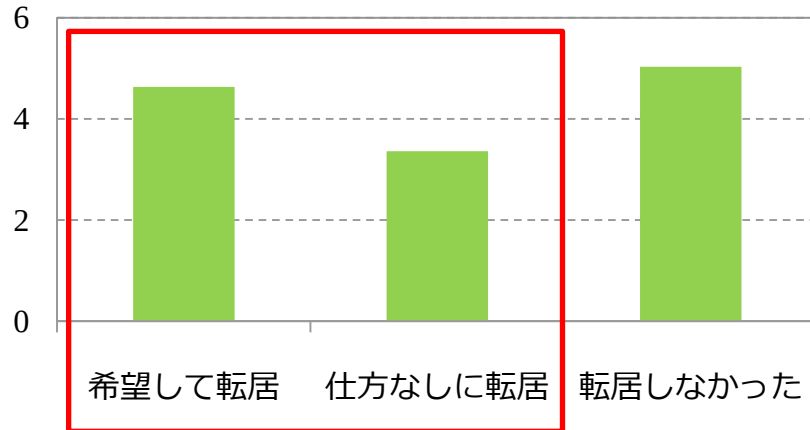
そば打ちして、ランチで皆さんに振る舞っています。人に喜ばれる仕事できて嬉しいよ。（元そば職人・70歳代）



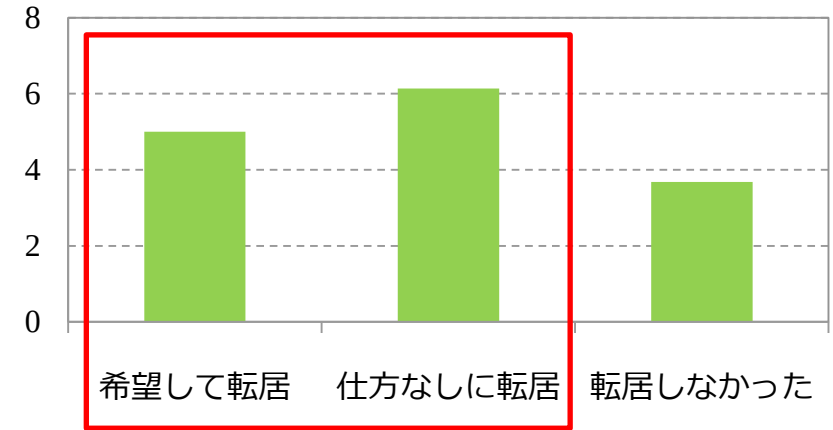
ご要望いただければ、ま～る券2枚（1000円相当）でカットします。仲間をキレイする仕事できて、充実感がありますね。（元美容師・70歳代）

自発的な住まい選びができている人の方が生活が充実

◆高齢者の転居後の生活満足度



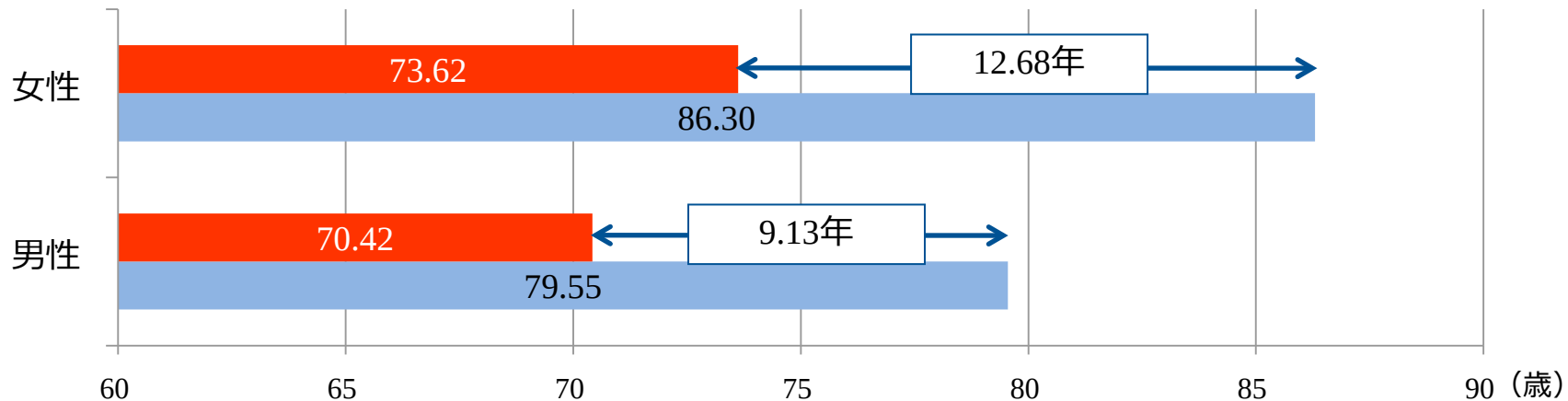
◆高齢者の転居後の抑うつ状態



(東京都老人総合研究所「中年からの老化防止・総合的長期追跡研究」より)

◆平均寿命と健康寿命

■ 健康寿命 (歳) ■ 平均寿命 (歳)



(厚生労働省「健康日本21」より)

定年を迎えた団塊世代が求める暮らしは
「隠居」から「新たな縁を創る」スタイルへ

縁居

アクティブな**団塊世代**が、いよいよ定年後の生活にはいつてきたが、この世代が今後の暮らしに求めるものは、その上の世代とは異なるようだ。

「**健康なうちに自らの意思**で、住み替え、リフォームなどを行うことにより、地域やコミュニティに**新たな縁や居場所**を創る」という動きが生まれている。

彼らが求める暮らしは、従来の「**健康・安心**」に加え、「**趣味・学び・役割を通じた交流**」であり、住まいの変化をきっかけ（＝縁）として活用している。

自分の意志で最適な住まいを選ぶことは、健康寿命を伸ばすことにつながり、超高齢化社会の解決の一助ともなる可能性がある。